

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	エントランスG.O.A.T.		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	60	(回答者数) 47
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 17日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	自由度が高い事業所であるため、子どもたちがストレスを感じることなく自由に過ごすことができる	利用者さんが「やってみたい！」と思うことにチャレンジできるような体制と準備を整えている。選択肢を多く提供し、その中から自分で選んでいく力も育てている。	利用者さんおよびご家族のご要望を聞き、支援内容がパターン化しないよう心掛ける。
2	保護者の要望にも柔軟に対応できる	定期面談以外にも随時相談や面談を受け付けている	オンラインでの相談にも対応していきたい
3	指導員が十分に配置されている	全体で何かをするのはイベント時のみで、通常時は完全にオーダーメイドの支援を行っている。一人一人の話をじっくり聞き、対応したりするために十分な人員を常時配置している。	専門の知識を持った指導員を増やしていきたい

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	居住空間が少し狭く感じる	中庭も活用し、室内が混みすぎないように工夫している	レイアウトを工夫する
2	室内が狭いため、騒がしくなってしまうことがある	時間差で座学に取り組むなど、静かな空間と時間を確保できるように工夫している	タイムスケジュールを練り直す
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 エントランスG.O.A.T.

公表日 2026年1月15日

利用児童数 2025年12月27日

回収数 47部

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	33	9	2	3	外のスペースがあることで、活動の幅が広がっています。	継続して外の遊び場の確保していく。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	43	3	0	1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	35	5	2	5		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	37	2	2	6		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	45	2	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	47	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	45	2	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	45	0	0	2		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	46	0	0	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	42	2	0	3		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	16	8	5	18		
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	46	1	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	45	0	1	1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	35	4	0	8		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	45	2	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	45	2	0	0	毎回、面談が楽しみです。	些細な困り事も話せる関係を続けていく。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	46	0	0	1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	32	8	0	7	弟もあこがれのエントランスの活動に参加することが出来て満足そうです。親同士の交流も楽しいです。	親御様・きょうだい参加OKのイベントも定期的に開催したい。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	42	4	0	1		
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	43	3	0	1		

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	32	3	4	8		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	42	1	0	4		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	25	6	1	15		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	9	2	18		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	33	6	0	8		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	37	2	1	7		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	47	0	0	0	先生やお友達にとっても親しみを持っているようです。	幅広い友好関係が築けるよう支援していく。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	47	0	0	0	毎回、張り切って通所しています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	47	0	0	0	今だけでなく、将来についても相談できてありがたいです。	現在・将来を見据えた支援をしていく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		エントランスG.O.A.T.		公表日		2026年 1月 15日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	個室も利用して、狭く感じないように工夫している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	職員が全体を見渡せる空間になっている。	バリアフリーではないが、現状ではバリアフリーは必要な利用者はいない。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	子どもたちと一緒に掃除を実施している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	支援内容や個人のコンディションによって、いつでも使えるようになっている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	毎日申し送りを行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	職員間で検討会議を儲けている。保護者からの相談にも随時応じている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	必要に応じて個人面談を行なっている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0	今後取り入れていきたい。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	受けたい研修があればいつでも提案できる体制にしている。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	ホームページ上で公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	複数人で作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	複数人で検討している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	会議で共有している。支援開始前にも申し送りをしている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	定期的にアセスメントシートを作成し、日々の日報にも記録を残している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	個別支援計画に記載している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	子どもたちにも意見を出してもらい、複数人で作成している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	子どもたちに意見や要望を聞いている。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	必要に応じて対応している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	毎日行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	基本的には支援開始前に前回の振り返り共有を行う。緊急の場合等、必要に応じて支援終了後すぐに共有している。日報も活用している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	支援日報を必ずその日のうちに記入、翌日から共有できるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	6ヶ月に一度または必要に応じて見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	個別支援計画に項目ごとに記載している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	日々子どもたちからリクエストや提案を聞くようにしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	児童発達管理責任者と担当職員が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	協力医療機関や豊島区の学校医師会、学校薬剤師会と連携している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	学校窓口、必要に応じて担任の先生や学童クラブとも連携を取っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0		障害福祉サービス事業所や進学先との情報共有を積極的に行っていく
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1		児童発達センター主催の研修に積極的に参加するなど、連携の機会を増やす
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	2	地域の子どもが遊びに来ることはある。イベント時などは地域の子どもが手伝ってくれることもある。	地域の子どもが参加できるイベントを企画する
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0		研修等に参加する機会を作る
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	面談や通所ごとに子どもの様子や課題を報告している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	公認心理士常駐。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0	今後、開催機会を増やしていきたい。	新年度になったら開催していきたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0		イベント連絡や事業所の通常の連絡だけでなく、役に立つ情報も積極的に提供していく
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	ロッカー（鍵付き）にて保管している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0	地域の夏祭りに参加。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	定期的な訓練実施を目指したい。	安全を考慮した訓練を行いたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	定期的な訓練実施を目指したい。	安全を考慮した訓練を行いたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	定期的に研修を開催している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0			